

## 公立大学法人滋賀県立大学の経営状況について

### 1 公立大学法人滋賀県立大学の概要

(1) 設立年月日 平成18年(2006年)4月1日

#### (2) 設立の趣旨・目的

地方独立行政法人法に基づき大学を設置し、および管理することにより、滋賀県における学術の中心として、未来を志向した高度な学芸を教授研究し、新しい時代を切り拓く広い視野、豊かな創造力ならびに先進的な知識および技術を有する有為の人材を養成するとともに、開かれた大学として、学術文化の振興、環境の保全、産業の発展および人間の健康に寄与することを目的とする。

#### (3) 業務概要

- ア 滋賀県立大学を設置し、これを運営すること。
- イ 学生に対し、修学、進路選択、心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。
- ウ 法人以外の者から委託を受け、またはこれと共同して研究を実施することその他法人以外の者と連携して教育研究活動を行うこと。
- エ 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。
- オ 法人における教育研究の成果を普及し、およびその活用を促進すること。
- カ 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

(4) 出資の状況(令和7年度末) 滋賀県 16,015,517 千円(100%)

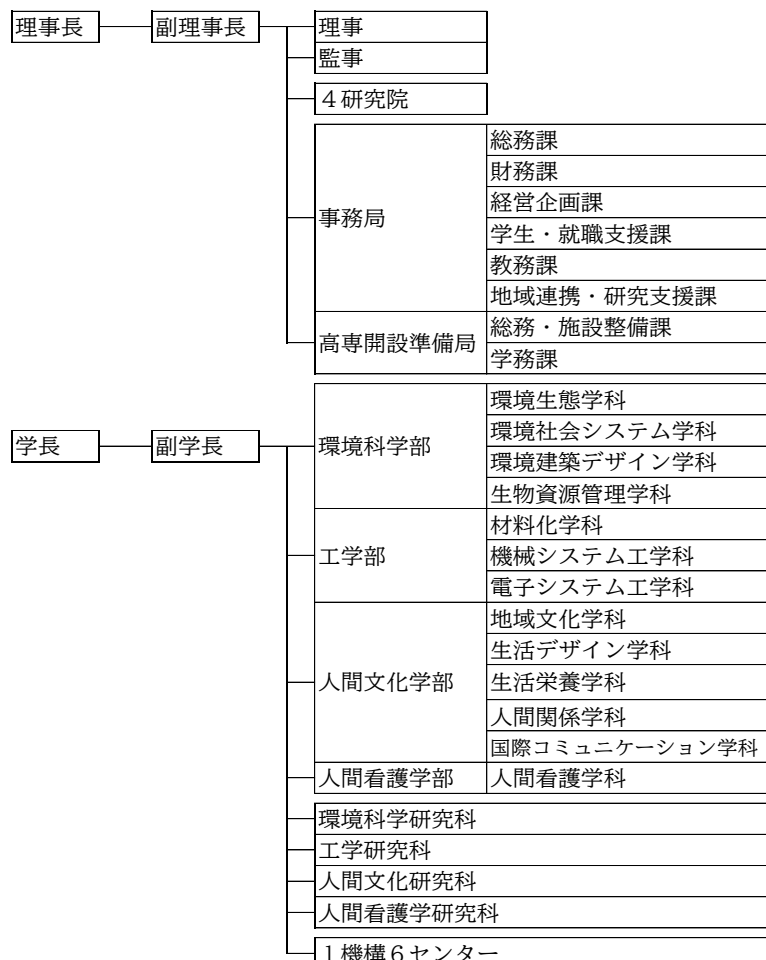
#### (5) 組織図

(令和8年4月1日現在)

役員 : 10 名

教職員 : 421 名

計 : 431 名



(6) 役員等

| 役職                | 氏名（他団体での役職）          | 常勤 |
|-------------------|----------------------|----|
| 理事長・学長            | 井手 慎司                | ○  |
| 副理事長（総務担当）・事務局長   | 福永 忠克                | ○  |
| 理事（教育・学生支援担当）・副学長 | 森下 あおい               | ○  |
| 理事（研究・評価担当）・副学長   | 松岡 純                 | ○  |
| 理事（地域連携・広報担当）     | 中嶋 毅                 | ○  |
| 理事（高専開設準備担当）      | 北村 隆行                | ○  |
| 理事                | 杉江 秀樹（株式会社滋賀銀行常勤監査役） |    |
| 理事                | 高橋 啓子（臨床心理士・滋賀県公安委員） |    |
| 監事                | 山本 憲宏（公認会計士）         |    |
| 監事                | 元永 佐緒里（弁護士）          |    |

(7) 所在地

彦根市八坂町 2500 番地

## 2 令和7年度決算の概要

- 収入・支出の各合計額は前年度から増加し、ともに設立以来過去最大額を更新
- 県からの運営費交付金も過去最大額を更新

(百万円)

| 区分 |                     | R6 決算額<br>(A) | R7 決算額<br>(B) | 差額<br>(B)－(A) | 備考 |
|----|---------------------|---------------|---------------|---------------|----|
| 収入 | 運営費交付金              | 2,849         | 3,058         | 209           | ※1 |
|    | 補助金等収入              | 1,452         | 1,676         | 224           | ※2 |
|    | 自己収入                | 1,897         | 1,913         | 16            |    |
|    | 授業料および入学金検定料収入      | 1,843         | 1,852         | 9             |    |
|    | 雑収入                 | 54            | 61            | 7             |    |
|    | 産学連携等研究収入および寄附金収入等  | 507           | 366           | △ 141         | ※3 |
|    | 目的積立金取崩             | 41            | －             | △ 41          |    |
|    | 計                   | 6,746         | 7,013         | 267           |    |
| 支出 | 業務費                 | 4,861         | 5,364         | 503           |    |
|    | 教育研究経費              | 990           | 1,256         | 266           | ※2 |
|    | 一般管理費               | 329           | 328           | △ 1           |    |
|    | 人件費                 | 3,542         | 3,780         | 238           | ※1 |
|    | 施設・設備整備費            | 1,241         | 1,179         | △ 62          |    |
|    | 産学連携等研究経費および寄附金事業費等 | 472           | 347           | △ 125         | ※3 |
|    | 計                   | 6,574         | 6,890         | 316           |    |
|    | 収入－支出               | 172           | 123           | △ 49          |    |

(主な増減理由)

- ※1 高等専門学校開設準備担当理事の就任、高専開設準備局教職員の増加、人事院勧告に伴う人件費の改定
- ※2 授業料等減免奨学金対象者（多子世帯）の増加
- ※3 令和6年度に特定寄附金1億円を計上した反動減

(注) 公立大学法人では、原則として企業会計原則に基づき、現金収支に限らず全ての収益・費用を把握する発生主義を採用しているが、自治体の公会計では、現金収支を基準とする現金主義が用いられている。

本資料では、県から運営費交付金を支出していることから、自治体会計との比較のしやすさを考慮し、発生主義による財務諸表ではなく、現金主義に基づく決算報告書の決算額を用いる。

なお、企業会計における令和7年度決算では、約72百万円の剰余金が発生し、「教育研究の質の向上、組織運営の改善および施設等の整備積立金」に計上。

### 3 令和7年度の主な業務報告

#### (1) 教育

- 学部・学科再編

令和12年4月予定の学部・学科再編に向け、学内に学部・学科再編推進委員会を設置し、主に新たな学部単位での設置の趣旨や教育目標など、再編の方向性について検討を重ねた。

- 近江環人地域再生学座

社会人6名、大学院生2名に対し称号授与を行った。

近江環人地域再生学座→



- 進路指導担当者および受験生への情報発信

進路指導担当を対象とした高等学校の教員向け説明会の実施や進路説明会への参加など、積極的に説明の機会を設けるとともに、オープンキャンパスでは直接受験生に対して入試の変更点（特別選抜試験の出願期間・選抜期日の変更等）を説明するなど、丁寧な情報提供に努めた。

#### (2) 研究

- 特色ある研究の推進と研究水準の向上

分野横断的な研究コミュニティとして、3件の提案（「長浜城歴史博物館の建設に関わる資料の保全と活用」、「地下部生態系機能」、「むらやしプロジェクト」）を採択した。

また、学内研究者に対し、地域ひと・モノ・未来情報研究センターを中心とした学際型研究を奨励するためのフライヤーを使用した周知広報を行い、推進を図った。

- 研究者に対する支援制度

環境整備研究費として研究費を加算するなどの育児休業等からの復帰支援や、子育て支援サービスの助成制度（ベビーシッター補助制度）を導入したほか、若手研究者に対し、外部競争的資金獲得に向けた助成を実施した。

#### (3) 地域貢献

- 学生活動による地域への貢献

学生の地域活動を近江楽座に採択し、各地域での活動を支援するとともに、ホームページ等で成果を発信した。

【活動事例】

- ・寺院で廃棄予定のろうそくをアップサイクルしたオリジナルキャンドルを製作し、キャンドルナイトや販売イベントの実施
- ・放置竹林を整備するとともに、伐採した竹を竹細工やワークショップ、展示販売に活用した魅力や価値の発信



- 社会人教育の充実

滋賀大学と共同で、産業界、自治体、金融機関が参画するプラットフォーム「滋賀リカレント教育コアリション（<sup>エスレック</sup>SRÉC）」を創設し、県内企業の中堅・若手社員、次世代リーダー層を対象とした人材育成プログラムを開講した。（県立大学担当プログラム受講者数：15名）

#### (4) 滋賀県立高等専門学校の設置

- カリキュラム等の編成および教員採用

開校準備教員を中心に、カリキュラムをはじめとした教育課程の編成など、設置認可申請書類の作成を進めたほか、教員予定者 48 名程度の採用に向けて、順次選考・内定を行った。

- 教育環境や施設等の整備の推進

校舎等施設の設計を完了し、順次工事発注手続を進めた。

- 積極的な情報発信

広報資材の制作や全市町教育委員会および小中学校長会への説明、県内小中学校への出前授業のほか、大規模商業施設等でのイベントの開催など、積極的な広報活動を実施した。

#### (5) 業務運営の改善

- 理事長・学長分離

令和 9 年度からの理事長・学長分離における法人組織体制のうち、役員体制について協議した。

#### (6) 財務

- 寄附金の拡大

開学 30 周年記念事業のうち、ホームカミングイベントを同窓会と共催。この機会を捉えて卒業生との連携を深め、寄附金の拡大に努めた。(開学 30 周年記念事業に係る寄附金収入：4,044 千円)

#### (7) ステークホルダーとの共創

- 卒業生等への情報発信

開学 30 周年事業に係るチラシを全卒業生に郵送し、大学の現状を知ってもらおうきっかけとしたほか、ホームページの特設ページにおいて記念行事の案内や大学のデータ集などの情報発信を行った。

↓開学 30 周年記念チラシ



開学 30 周年記念式典→  
出席者 260 名



#### (8) 自己評価等

- 企業向けアンケート

県立大学において企業向けアンケート（回答者数 187 名）を実施し、その結果の分析および卒業生に対する評価を確認した。

| 社会人として必要とされている能力 | 県立大学の卒業生に感じられる傾向 |
|------------------|------------------|
| 1 コミュニケーション能力    | 1 まじめで手堅い        |
| 2 積極性            | 2 協調性がある         |
| 3 向上心            | 3 素直で指示によく従う     |
| 4 問題解決能力         | 4 勉強熱心で向上心が高い    |
| 5 柔軟性            | 5 積極的で主体性がある     |

※いずれも上位 5 項目を記載

#### 4 滋賀県立大学の基礎数値等

##### (1) 志願倍率 (倍)

| 区分<br>学部名   | 前期   |      |      | 後期   |      |      | 推薦   |      |      |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|             | R6.4 | R7.4 | R8.4 | R6.4 | R7.4 | R8.4 | R6.4 | R7.4 | R8.4 |
| 環境科学部       | 3.2  | 4.1  | 2.6  | 9.8  | 10.8 | 7.3  | 1.7  | 2.0  | 1.5  |
| 工学部         | 2.8  | 2.9  | 4.5  | 10.2 | 11.7 | 14.4 | 1.2  | 1.3  | 1.6  |
| 人間文化学部      | 3.1  | 3.9  | 4.2  | 10.3 | 11.1 | 9.8  | 3.7  | 3.3  | 3.0  |
| 人間看護学部      | 2.3  | 1.5  | 2.2  | 14.4 | 10.6 | 16.7 | 1.9  | 2.7  | 2.1  |
| 計           | 3.0  | 3.4  | 3.6  | 10.3 | 11.1 | 10.7 | 2.2  | 2.4  | 2.1  |
| (参考)募集人数(人) | 282  | 279  | 279  | 175  | 174  | 174  | 143  | 147  | 147  |

##### (2) 学部卒業生の就職内定状況

| 区分                 | R 6 年 3 月 | R 7 年 3 月 | R 8 年 3 月 |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| 卒業生数 (人)           | 605       | 591       | 595       |
| うち就職希望者数 (人)       | 435       | 441       | 437       |
| 就職内定者数 (人)         | 428       | 433       | 432       |
| 就職内定率 (%)          | 98.4      | 98.2      | 98.9      |
| 就職者のうち県内就職内定者数 (人) | 114       | 98        | 95        |
| 県内就職内定率 (%)        | 26.6      | 22.6      | 22.0      |

※県内就職は、県内に本社のある企業、県内の地方公共団体、病院等で集計

##### (3) 科学研究費助成事業（科研費）獲得状況

| 区分              | R 5     | R 6     | R 7     |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 採択件数 (件) ※新規＋継続 | 89      | 91      | 82      |
| 採択金額 (千円)       | 140,790 | 196,950 | 193,700 |
| 新規採択件数 (件)      | 25      | 29      | 21      |

##### (4) 受託研究受入状況

| 区分      | R 5     | R 6     | R 7     |
|---------|---------|---------|---------|
| 件数 (件)  | 37      | 32      | 29      |
| 金額 (千円) | 204,890 | 138,219 | 114,950 |

##### (5) 共同研究受入状況

| 区分      | R 5    | R 6    | R 7    |
|---------|--------|--------|--------|
| 件数 (件)  | 54     | 48     | 51     |
| 金額 (千円) | 49,699 | 47,810 | 61,687 |

(以上)